

教育プログラム・コースの概要

大学名等	兵庫医科大学病院卒後臨床研修センター（歯科臨床研修）
教育プログラム・コース名	兵庫医科大学 特色ある医療支援歯学教育プログラム 「平時」から「有事」まで、オーラルマネジメント“CREATE”を実践できる歯科医療人養成コース
対象者	研修歯科医
修業年限（期間）	1年
養成すべき人材像	<ul style="list-style-type: none"> ・オーラルマネジメント（OM）の構成要素である“CREATE”を理解する研修歯科医 ・「平時」からOMの実践に努め、高齢者が弱者となる災害時に加え、患者にとっては「有事」と言えるがんの治療などの周術期においても、生と死を意識しながら、多職種との連携によるチーム医療を的確かつ円滑に実践できる研修歯科医・歯科医療人
修了要件・履修方法	<p>修了要件： 講義を6回、歯科医師を含めた多職種で構成される呼吸サポートチームへの帯同を中心とする演習を1回（90分×2回）の計8回受講し、各講義・演習毎に求めるレポート課題に合格すること【参加大学の自由選択科目】</p> <p>履修方法： <u>参加大学の自由選択科目として本選択制コース（学部教育における約1単位相当）を新規開講</u>する。兵庫医科大学病院での演習（原則として毎週木曜日の午後）への参加は必須とするが、講義の聴講が難しい場合には、講義を録画したDVDを視聴し、視聴したことを確認するための小テストへの回答とレポートの提出での代用を認める。</p>
履修科目等	<p>兵庫医科大学病院卒後臨床研修センター（歯科臨床研修）自由選択「平時」から「有事」まで、オーラルマネジメント“CREATE”を実践できる歯科医療人養成コース</p> <p>本プログラムでは、兵庫医科大学病院歯科口腔外科のオリジナルである“CREATE”を意識した「オーラルマネジメント」（以下OM）を教授する。当科でのOMとは、広義の口腔ケアとされる清掃（Cleaning）とリハビリ（Rehabilitation）の2つに加え、ブラッシング指導のような教育（Education）、そして的確な口腔の評価（Assessment）、さらに抜歯や義歯の調整など歯科治療（Treatment）の5つの要素が揃うことが重要であるという概念である。以上の5要素を適切に達成できれば、おいしく食べる（Eat）、もしくは、楽しむ（Enjoy）ことが可能となり、CleaningからEat・Enjoyまでの頭文字6つを順に並べると”CREATE”で、「食べられる口をCREATE（つくる）」が目標である。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オーラルマネジメントの基本：90分 x 3 コマ <ol style="list-style-type: none"> (1) 口腔清掃（セルフケア、プロフェッショナルケア） (2) 口腔リハビリ（欠損補綴、嚥下）、患者教育および口腔の評価・診断 (3) 歯科治療（特に災害時にも役立つ応急処置：顎顔面外傷、義歯の修理など） 2. オーラルマネジメントの実践例：90分 x 3 コマ <ol style="list-style-type: none"> (1) 周術期（食道癌・骨髄移植・がん化学療法） (2) 災害医療における歯科医師の役割（プライマリケアと歯型照合） 3. クリティカルケア学（JR福知山線脱線事故の経験も含めて）：90分 x 1 コマ 4. “CREATE”実践実習（呼吸ケアチームへの帯同を中心に）：90分 x 2 コマ

<p>教育内容の特色等 (新規性・独創性等)</p>	<p>周術期における口腔に関連する合併症を予防するには口腔ケアだけでは不十分で、“CREATE”の構成要素である教育(E)、評価(A)、歯科治療(T)を加えたOMが不可欠であることを、医科大学病院における臨床の中で他施設に先駆けて兵庫医科大学病院歯科口腔外科が示してきた。<u>卒前教育を受ける歯学部では十分に経験しにくい医師、看護師ら、多職種との医療連携で得た“CREATE”の概念に基づくOMのノウハウを実践の中で学ぶことができることに新規性と独創性がある。</u></p> <p><u>兵庫医科大学病院歯科口腔外科のスタッフは、医科大学病院におけるがん医療は当然のこととして、阪神・淡路大震災とJR福知山線脱線事故という2つの大きな災害の経験を踏まえた生と死を意識したチーム医療を展開しており、その経験に基づく研修を研修歯科医に大きなインパクトをもって与えることにも新規性と独創性がある。</u></p>						
<p>指導体制</p>	<p>教育プログラム統括：兵庫医科大学・岸本裕充教授（歯科口腔外科学）</p> <p>講義・演習の担当者は以下の通り</p> <p>【講義】</p> <p>1-1, 2-1：兵庫医科大学・岸本裕充教授（歯科口腔外科学） 1-2：兵庫医科大学・長谷川陽子講師（歯科口腔外科学） 1-3：兵庫医科大学・野口一馬准教授（歯科口腔外科学） 2-2：兵庫県警察歯科医会（宝塚歯科医師会）・田川宣文副会長 3：聖路加看護大学・宇都宮明美准教授（集中治療看護学） ※講義は病院での診療研修（業務）時間外（17:30～19:00）に開催する。</p> <p>【演習】</p> <p>4：兵庫医科大学・西信一教授（集中治療学，兵庫医科大学病院副院長）</p>						
<p>教育プログラム・コース修了者のキャリアパス構想</p>	<p>コース修了者は、「平時」には“CREATE”の概念に基づく周術期のOMを、また、近い将来に発生することが予測されている大規模災害（例：南海トラフ地震）のような「有事」を想定して、実践的な歯科医療を行えるようになる。また、歯科医師会における保健衛生部や行政畑において、災害医療学をベースとした地域医療の発展をリードできる人材となり得る。さらに、教育・研究機関において災害歯科医療分野をリードする歯科医学者としての基礎が養える。</p>						
<p>受入開始時期</p>	<p>平成28年4月</p>						
<p>受入目標人数</p>	<p>対象者</p>	<p>H26年度</p>	<p>H27年度</p>	<p>H28年度</p>	<p>H29年度</p>	<p>H30年度</p>	<p>計</p>
	<p>参加校 研修歯科医</p>	<p>0</p>	<p>0</p>	<p>20</p>	<p>20</p>	<p>20</p>	<p>60</p>
							0
							0
							0
	<p>計</p>	<p>0</p>	<p>0</p>	<p>20</p>	<p>20</p>	<p>20</p>	<p>60</p>